

第1部 講演

演題1 「PPP/PFIにおける地域企業との連携」

講師：鹿島建設株式会社 開発事業本部 PFI 推進部 事業管理グループ長 武田理 氏

<講演内容>

1. 取組案件の絞り込み（何で判断するか）
 - ・・・事業の安全性、自社の持つノウハウを活かせるか等
2. 地元企業との協働について（地元企業の情報収集）
 - ・・・事業の見極め、地元企業の情報収集、候補となる地元企業へのアプローチ、大手ゼネコンの立場から想定される地元企業が不安に思う内容等
3. 地元企業の PFI 事業参画を阻むハードル
 - ・・・人的負担・金銭的負担、異業種企業との協働機会の不足、資格要件（類似実績）、信用力（資金調達力）
4. 地元企業の参画形態
 - ・・・代表企業、構成員、協力会社の順に関与度合いは低下する
5. 代表企業の役割（落札前・落札後）
6. 構成員の役割（落札前・落札後）
7. 協力企業の役割（落札前・落札後）
8. 下請けの役割（落札前・落札後）
9. コンソーシアム組成のスケジュール
10. 事前経費の負担
11. リスク分担について（リスクのパススルー）
12. 負担が予想される主要リスク（例）について
 - ・・・物価変動リスク、土壌汚染／地中障害物／埋蔵文化財等のリスク、不可抗力リスク、需要変動リスク、水光熱費リスク等
13. 事例紹介
 - ① 千葉市大宮学校給食センター
民間企業が給食センターの運営まで担う日本発の事例であり、運営業務のウェイトが非常に高くなっている。地域金融機関が積極的に関与した PFI 案件となっている。
 - ② 長崎市立図書館
構成員・協力企業として多くの地元企業が参画した事例であり、地元企業の主体性を高める PFI 案件となっている。
 - ③ さいたま市プラザノース
維持管理を地元企業のみで行っており、ファイナンスも地元の金融機関のみが実施している。地元企業の高い独立性を発揮した事例といえる。
 - ④ 墨田区総合体育館

混合型の事業方式を採用した PFI 案件であるため、運營業務における利用料金のウエイトが高くなっている。多くの地元企業がサポーターズクラブに参加している事例である。

14. (まとめにかえて) 地域企業との協働の実効性向上

- ・ ・ ・ 地元企業との連携・協働のメリット、コミュニケーションの重要性